

平成 30 年度 秋期 IT ストラテジスト試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
IT ストラテジストには、組織の事業特性を踏まえて、対象となる事業・業務環境の分析を行い、個別のシステム化計画を策定する能力が求められる。	
本問では、コールセンタのサービスの高度化を事業テーマとする証券会社を題材として、新しい情報技術を活用するシステム計画を策定する能力を評価する。具体的には、AI を活用して、現状分析、新サービスの検討、新サービスの導入効果について問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	表示する回答候補の精度が向上するから	
	(2)	回答候補がない場合にオペレータが自ら探した回答のデータ	
設問 2	(1)	新サービスによって自ら問題を解決できること	
	(2)	顧客へのコールバックに切り替えることで解決できた質問及び回答	
設問 3	(1)	全体の問合せに対するチャットボットへの問合せの割合	
	(2)	作業内容	メールによる問合せへの回答
		効果	時間外勤務による業務コストの削減

問 2

出題趣旨	
IT ストラテジストには、対象となる業務の調査・分析を行い、適切な個別システム化計画を策定する能力が求められる。	
本問では、住宅設備メーカーのシステム導入を題材として、システムがもつ機能を業務改善に活用する能力、システムに蓄積する情報を業務改善に活用する能力を評価する。具体的には、営業部門において短期の商談に取り組むために確認する情報の識別、製造部門における情報を活用した業務改善、生産管理部門と製造部門が協力して取り組む品質確保のための情報の識別、部品メーカーに提供する情報の識別、導入したシステムによって実現できる課題の改善を問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	生産能力の余力の状況		
設問 2	(1)	計画数量と実績数量の差異を時間ごとに把握する。	
	(2)	部品の入庫日付がより古い部品から出庫させる機能	
	(3)	複数の製品の製造に必要な部品の出庫指示データをまとめて作成する機能	
設問 3	(1)	温度と湿度の情報	
	(2)	部品の発注予定数量	
	(3)	想定以上の時間外作業時間を抑えられる。	

問3

出題趣旨		
IT ストラテジストには、情報技術を活用したビジネス戦略の推進や業務改革を提案し、情報システムを企画する能力が求められる。		
本問では、デザイン会社の事業展開に関する取組みを題材として、業務の効率向上や新しい事業の構築に情報技術を応用する能力を評価する。具体的には、制作業務に関わる情報システム、案件管理の取組み、事業拡大への課題について問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	(1)	C 社 社外のデザイナー	事務手続のための社内工数が削減できること 過去の部品の再利用が可能になること
	(2)	a 部品の再利用率	
	(1)	案件へのアクセス履歴を保管する機能	
設問2	(2)	複数の広告代理店に同一の見積額を提示するので	
	(1)	動画と音声のコンテンツの編集機能	
設問3	(2)	拡大する運用事業の継続的な業務運営	

問4

出題趣旨		
IT ストラテジストには、AI, IoT を踏まえた新たな事業戦略を立てるに当たり、市場動向を基に将来性のある新製品企画と事業計画を立案する能力が求められる。		
本問では、エレベータ製造販売メーカーの新製品企画を題材として、海外市場に対して AI を活用した競争力の高い新製品企画と事業計画を立案する能力を評価する。具体的には、国内外の市場状況を調査して事業性を検討する能力、競争力の高い新機能を企画する能力、戦略的な事業展開を企画・立案する能力を問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	(1)	・海外メーカーが新規参入したから ・新規ビルの建設数は減少傾向にあるから	
	(2)	高層ビルの建設予定が多く、集中した需要が見込まれるから	
設問2	(1)	曜日、休日、時間、天気、周辺のイベントなどによる利用者の変動を予測する。	
	(2)	自社製品には他社との差別化を図った機能をもたせる。	
設問3	(1)	目的 施策	新設のシェアを高めることによって長期間高い売上げを維持する。 ・S 社2システムを対象とした通信ユニットを実装する。 ・ソフトウェア更新で機能追加できるように設計する。
	(2)	利用者の階へエレベータをあらかじめ移動させる。	